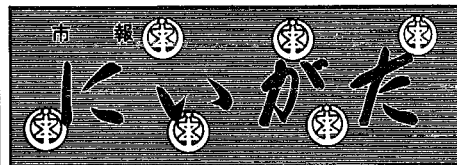


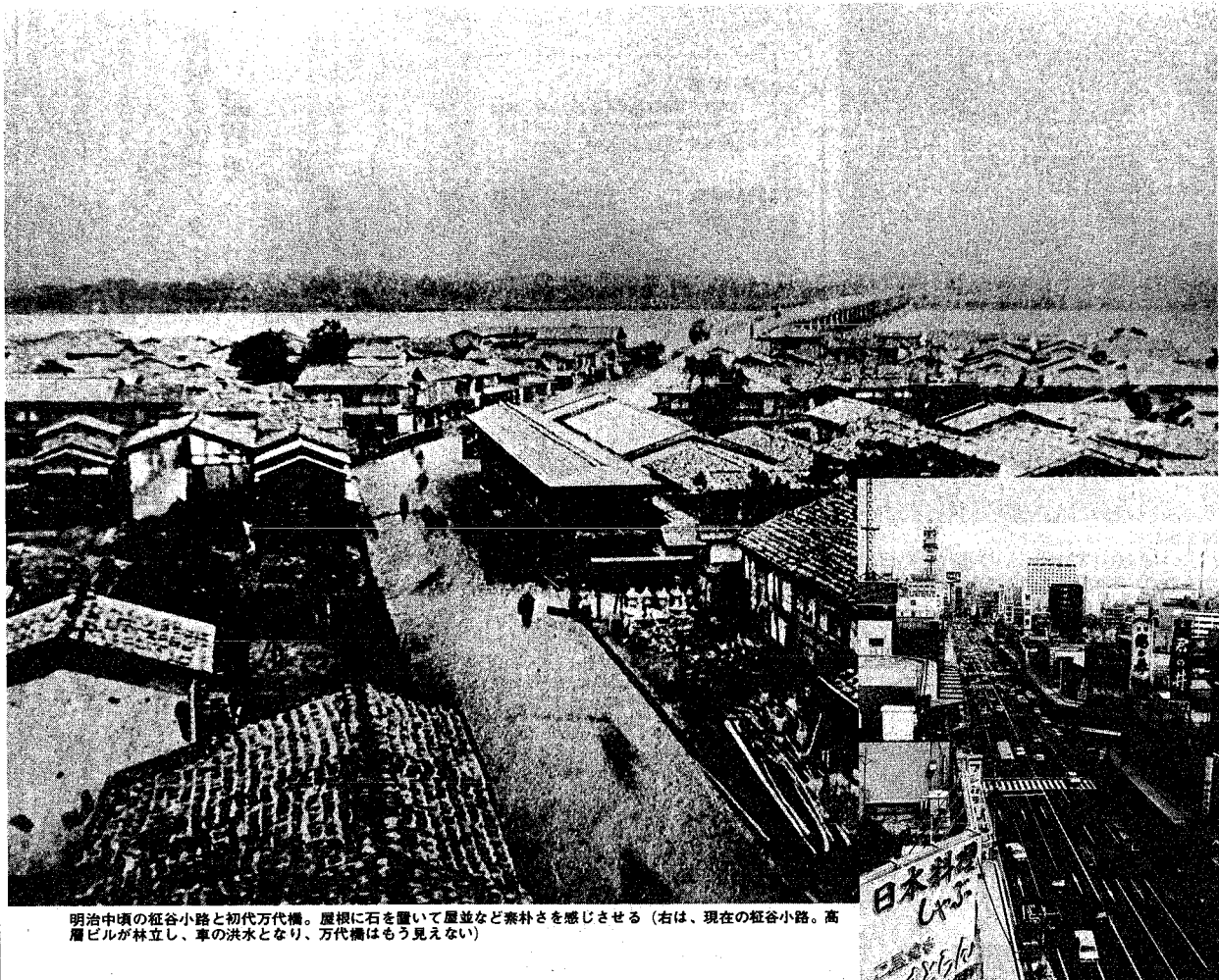
# 市制90周年 特集号

本号は「市制90周年特集号」を組んだため、題字が変形になっています。



発行所 新潟市役所  
新潟市西區通6番町  
265  
電話代案(28)1000  
編集人 高橋甲子  
(担当市民企画部広報課)  
印刷所 第一印刷所

市の人口	
人口	442,891 (+548)
男	217,232 (+308)
女	225,659 (+240)
世帯数	139,535 (+224)
54年6月末日現在	



明治中頃の榎谷小路と初代万代橋。屋根に石を置いて屋並など素朴さを感じさせる(右は、現在の榎谷小路。高層ビルが林立し、車の洪水となり、万代橋はもう見えない)

# 市制100年に向けて



新潟市長

川上喜一郎

わが新潟市は明治二十二年四月市制をしき、今年九十年を迎えました。この間いろいろの変遷があり、そして戦争、大火、地震など不幸な出来事もあり、しかし市民はこの変化に対応し、屈することなく営々と努力してきました。

いま人口四十四万を超え、日本海沿岸の拠点都市として成長、発展をつづけています。新幹線の開業も時間の問題になっています。また対岸諸国との交流もさらに強められてくることがあります。これからの新潟はさらに変化してゆくことでしょう。

私はこの九十歳をすべての市民のみならずとも喜び、ここまでまちづくりをすすめてくれた先人に感謝したいと思います。そして私はこの九十年を大きな節目として、これからのまちづくりにとり組みたいと思います。

都市は、ここに市民が住み、活動し、憩う場ですから、市民にとって快適性、利便性などが確保されなければなりません。この観点から現状をみますと、着実に前進してはいますが、満足できるものではありません。このため「新潟市生活環境基準」をつくり、その達成のため着手しているところです。また経済活動は市民の雇用、生活のために、そして市勢伸長にとって大切ですから、この健全な発展のために基盤づくりをさらにすすめたと思います。

これと並行して私はいま、これからの新潟のために、人口規模、土地利用、都市の性格、魅力など、まちづくりの基本となる問題について検討するため準備に入りました。

まちづくりは市民の参加が不可欠です。いくら物的側面が立派でも、市民の連帯、参加がなければ都市砂漠のようなものです。より住みよいまちづくりは、市民と行政の合作によってはじめて可能になります。

市制百年に向けてこれまでの先人の遺産の上に、いま住んでいる私たちの新しい成果を積みあげるために、一步一步着実に前進させたいと思います。